

2016

7.5-
(火)
8.28
(日)



会場
江戸東京博物館
EDO-TOKYO MUSEUM 1階特別展示室

開館時間
午前9時30分～午後5時30分
(7月9日・16日・23日の土曜日は
午後7時30分まで、7月29日の
金曜日から、金曜と土曜は午後9時
00分まで)
※入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日
(ただし、7月18日、8月8日、
15日は開館、7月19日は休館)

主催
公益財団法人
東京都歴史文化財団
東京都江戸東京博物館
読売新聞社

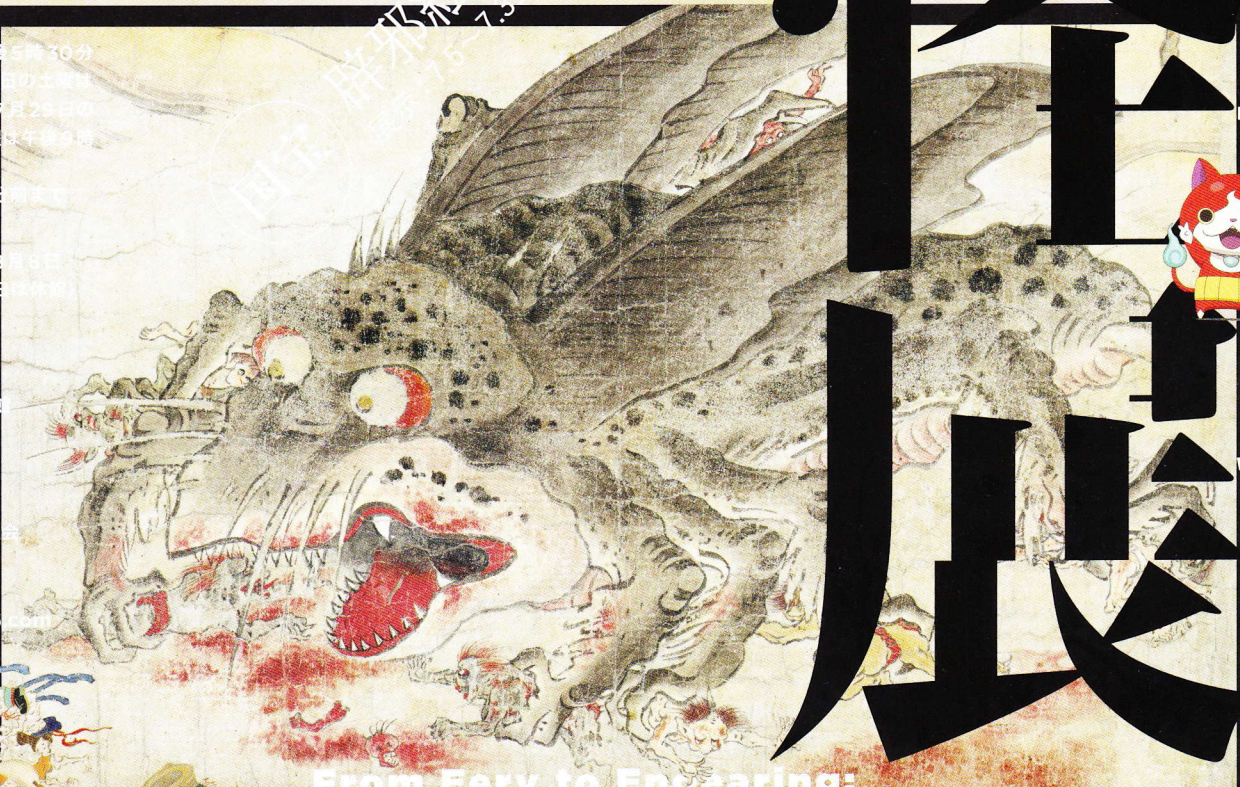
協賛 野崎印刷紙業
協力
妖怪ウォッチ製作委員会
後援 TBSラジオ
公式HP
<http://yo-kai2016.com>

重要
文化財

法上佐光展 展示: 8.2~8.28
百鬼夜行絵巻

妖怪展

土偶から妖怪ウォッチまで



From Eery to Enticing:

Yōkai in the Arts of Japan

江戸時代から先史の土偶まで、妖怪のルーツを探り、最後に4000年の時空を超えて現代の「妖怪ウォッチ」を紹介!!

江戸の妖怪、大行進!

これが江戸の妖怪だ! 葛飾北斎「天狗図」(部分) 天保10年(1839) 個人蔵



物語になった妖怪たち

い の う も の の け ろ く え ま き
「稲生物怪録絵巻」(部分)
安政6(万延元年)1859-60 個人蔵



妖怪大図鑑

宝暦12年(1762)
「娘国」(部分)
せんがいろく
東北大学附属図書館蔵



※7月5日(31日)展示

中世に妖怪の源流 うごめく 妖怪の源流 地獄・もののけ

伝土佐光信
ひやっせやぎょうえまき
「百鬼夜行絵巻」(部分)
室町時代(16世紀) 京都・真珠庵蔵



国宝

「辟邪絵神虫」(部分)
へきじやえ しんちゅう
平安(鎌倉時代)12世紀 奈良国立博物館蔵



地獄にうごめくものたち

幽霊画の世界

駒井源琦「釣灯笼を持つ骸骨」
つりとうろう
がいきつ

江戸時代(18世紀)
福島・金性寺蔵



※会期中、巻替あり

※会期中、頁替あり

※8月2日〜28日展示

※8月2日〜28日展示



※7月5日〜31日展示

撮影：佐々木春輔

国宝

六道絵 譬喻经所説
念仏功德図
鎌倉時代(13世紀)
滋賀・聖衆来迎寺蔵



※7月26日〜8月15日展示

縄文人の不安の造形化

重要文化財

「みみずく土偶」
縄文時代
(前2000〜
前1000年)
兵庫・辰橋考
古資料館蔵



※7月26日〜8月15日展示

※7月5日〜31日展示

重要文化財

「土蜘蛛草紙絵巻」
南北朝時代(14世紀)
東京国立博物館蔵(部分)



※8月2日〜28日展示

※会期中、頁替あり

※7月5日〜31日展示

Image: TNM Image Archives

錦絵の妖怪

葛飾北斎

ひやくものがたり

「百物語」

こはだ

小平二

天保(1830-44)初期
中外産業株式会社
(原安三郎「レクシヨ」蔵)



版本の妖怪

鳥山石燕

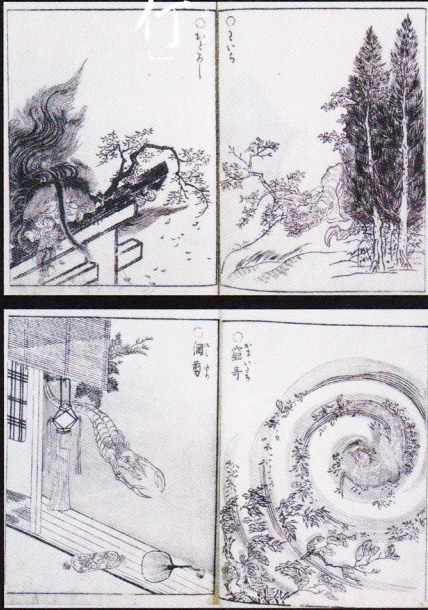
がず

「画図」

ひやくきや

「百鬼夜行」

安永5年(1776)
川崎市市民ミュージアム蔵



妖怪
転生
現代の妖怪

ジバニヤン
(「妖怪ウォッチ」より)



©LS/YWP-TX

※各作品の展示期間は、変更なる可能性があります。

妖怪は、日本人が古くから抱いてきた、異界への恐れや不安感、また“身近なもの”を慈しむ心^{いっく}が造形化されたものです。

本展では、縄文時代の土偶から、平安・鎌倉時代の地獄絵、室町時代の絵巻、江戸時代の浮世絵など、国宝・重要文化財を多数含む日本美術の名品により、日本人が恐れ、愛してきた妖怪たちの姿を紹介します。

土偶から最新の「妖怪ウォッチ」まで、一堂に公開します。

見どころ

① 国宝、重文が続々と! 妖怪展の決定版!!

国宝「辟邪絵」をはじめ、現存する最古の「百鬼夜行絵巻」として名高い真珠庵本（重要文化財）などの中世絵巻も揃い踏み! 妖怪表現のルーツを探る上で欠かせない一級的美術品を数多く紹介します。

② 土偶から最新の妖怪ウォッチまで、妖怪の全貌を一挙公開!

縄文時代後期（紀元前 2000 年）の土偶から、江戸の化け物、そして現代の妖怪ウォッチまで、4000 年の妖怪たちが大集合! 日本人が表現してきた妖怪の全てがわかります。

③ カワイイ妖怪たちも総出演!

「姫国山海録」に描かれた諸国に現れた珍幻獣や、お腹にいるという虫たちなども妖怪の変型とみなします。思わず手元においておきたくなる、カワイイ妖怪たちが全国から集まります。

会場

江戸東京博物館

EDO-TOKYO MUSEUM 1階特別展示室

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1 Tel. 03-3626-9974 (代表)
江戸東京博物館ウェブサイト <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

交通 JR総武線「両国」駅西口徒歩3分/都営地下鉄大江戸線「両国（江戸東京博物館前）」駅A3・A4出口徒歩1分/都バス錦27・両28・門33系統、墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前（江戸東京博物館前）」徒歩3分



観覧料 (税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券	特別展前売券
一般	1,350 円 (1,080 円)	1,560 円 (1,240 円)	1,140 円
大学・専門学校生	1,080 円 (860 円)	1,240 円 (990 円)	870 円
中学生 (都外)・ 高校生・65 歳以上	680 円 (540 円)	780 円 (620 円)	470 円
小学生・中学生 (都内)	680 円 (540 円)	なし	470 円

チケット販売場所 江戸東京博物館、チケットぴあ、ローソンチケットなど主要プレイガイド。
※手数料がかかる場合があります。※特別展・常設展共通券の販売は、江戸東京博物館のみです。

※ () 内は 20 名以上の団体料金。※次の場合は観覧料が無料です。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方 (2 名まで)。※小学生と都内在住・在学の中学生は、常設展示室観覧料が無料のため、共通券はありません。※前売券は 4 月 29 日 (金・祝) から 7 月 4 日 (月) まで販売。